

第4章 平和な社会に向かって

戦争は多くの悲劇を生みました。日本は米軍を中心とする連合軍に占領され、空襲で焼け野原になったまちなど多くの戦争の傷跡が残されました。それでも日本は復興にむけて歩み始め、1947（昭和 22）年には戦争放棄をうたった第 9 条を含む日本国憲法を制定し、平和な社会を築き現在に至ります。



「マ総司令官諭告綴」



「新しい憲法明るい生活」



「あたらしい憲法のはなし」

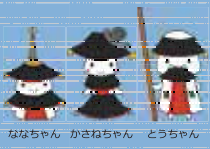
大分市歴史資料館 令和7年 夏季展示 「大分の戦争と平和」 展示資料一覧					
【第1章】 大分の戦争		【第2章】 戦争と市民		【第3章】 終戦その時	
No.	展示品	No.	展示品	No.	展示品
①	盃 (旧日本陸軍歩兵第 47 連隊記念品) [大分市歴史資料館所蔵]	⑪	旧荷揚町国民学校の学校日誌 (昭和 16 年) [大分市立碩田学園所蔵]	⑳	「婦人倶楽部 十月号」 (昭和 20 年) [大分市歴史資料館所蔵]
②	「写真週報」 (昭和 17 年) [大分市歴史資料館所蔵]	⑫	「うたのほん (ほるぶ出版 復刻版)」 [大分市歴史資料館所蔵]	㉑	「少女の友 十二月号」 (昭和 20 年) [大分市歴史資料館所蔵]
③	斯加式十二瓏速射加農弾薬箱 [大分市歴史資料館所蔵]	⑬	「少年倶楽部 七月特大号」 (昭和 13 年) [大分市歴史資料館所蔵]	㉒	陸軍運動靴 [大分市歴史資料館所蔵]
④	四一式山砲榴散弾薬箱 (箱) [大分市歴史資料館所蔵]	⑭	戦時国債 [大分市歴史資料館所蔵]	㉓	応急用主要食糧特配購入券 [大分市歴史資料館所蔵]
⑤	旧日本海軍予科練制服 [大分市歴史資料館所蔵]	⑮	旧荷揚町国民学校の学校日誌 (昭和 20 年) [大分市立碩田学園所蔵]	㉔	引揚者のシャツ [大分市歴史資料館所蔵]
⑥	大分市街新地図 (昭和 5 年) [大分市歴史資料館所蔵]	⑯	空襲時の爆弾の破片 [大分市歴史資料館所蔵]	㉕	引揚者のリュック [大分市歴史資料館所蔵]
⑦	旧日本陸軍軍服 [大分市歴史資料館所蔵]	⑰	防空頭巾 [大分市歴史資料館所蔵]	㉖	モンゴル抑留者着用の旧日本陸軍コート [大分市歴史資料館所蔵]
⑧	旧日本陸軍鉄帽 [大分市歴史資料館所蔵]	⑱	もんぺ [大分市歴史資料館所蔵]		
⑨	旧日本陸軍略帽 [大分市歴史資料館所蔵]	⑲	「義勇奉公」 (書道の掛け軸) [大分市歴史資料館所蔵]		
⑩	旧日本陸軍図囊 [大分市歴史資料館所蔵]				

大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大字国分960-1 TEL:097-549-0880 FAX:097-549-5766

【開館時間】入館は16:30まで 【休館日】※ただし祝日の場合は開館 9:00-17:00 月曜日 (第1月曜を除く)、第1火曜日、祝日の翌日

【年末年始の休館日】 12/28-1/4 【入館料】大人 210円 (団体150円) 高校生 100円 (団体50円) 中学生以下 無料

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1名は無料。◎入館時に受付で手帳を提示してください。



大分市歴史資料館

OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

ニュース

夏季展示
特別号
発行日 2025.7.19



令和7年 夏季展示

会期 7月19日(土) ~ 9月28日(日)

旧荷揚町国民学校の学校日誌 (昭和12年) 及び
旧荷揚町国民学校の学校日誌 (昭和20年) より抜粋





1937(昭和12)年に日中戦争が始まり、さらに1941(昭和16)年には太平洋戦争が開戦し、約8年間戦争の時代が続きました。大分からは日中戦争の初期から多くの兵士が出征し、太平洋戦争末期には戦況の悪化により、大分も空襲を受けるなど市民生活は戦争から大きな影響を受けることになります。

1945(昭和20)年8月15日、日本は降伏を受け入れましたが、戦争の影響は残り続けました。しかし、その中でも人々は平和と復興を目指しました。

戦後80年を迎え、今回の展示では、大分に残る資料を中心に、大分の「戦争」と「平和」について紹介します。

第1章 大分の戦争

かつての大分市域には多くの軍事関連施設があり、戦前から、大分には旧日本陸軍の歩兵第47連隊が駐屯し、その基地がありました。大分県出身者で構成されたこの連隊は郷土部隊と呼ばれ、日中戦争が始まると戦地に

派兵されました。

さらに旧日本陸軍は豊予海峡防衛のために豊予要塞を築き、高島や関崎などに砲台を設置するなど、海峡を侵攻してくる船等を想定し、備えていたのです。



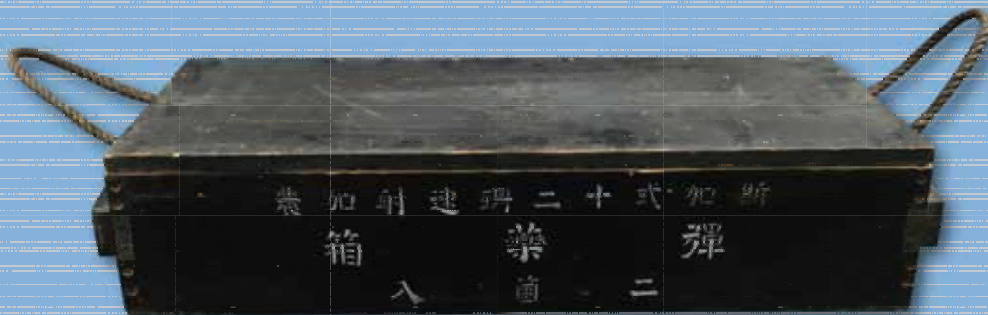
旧日本陸軍歩兵第47連隊兵舎



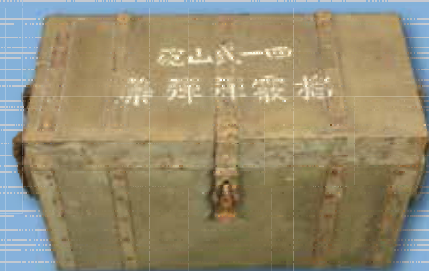
旧日本陸軍鉄帽



旧日本陸軍内帽



斯加式十二連射加農弾薬箱



四一式山砲榴散弾弾薬(箱)

第2章 戦争と市民

戦争は日常の生活に深く結びつき、人々が普段目にする新聞や雑誌などでは、戦況や軍事に関する記事が中心を占めるようになりました。戦況の悪化に伴い大分でも空襲が始まり、1945(昭和20)年7月16日の

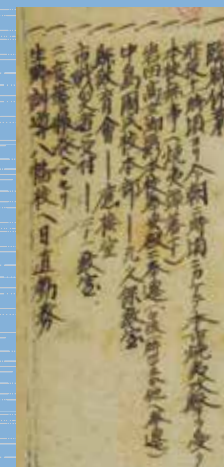
空襲によって、大分市中心部は壊滅的な被害を受けました。当時の旧荷揚町国民学校の学校日誌には、空襲警報の発令時間など、空襲の日の状況が記録されています。



空襲時の爆弾の破片



▲旧荷揚町国民学校の学校日誌(昭和20年)



▲旧荷揚町国民学校の学校日誌
大分空襲直後の昭和20年7月17日の記事

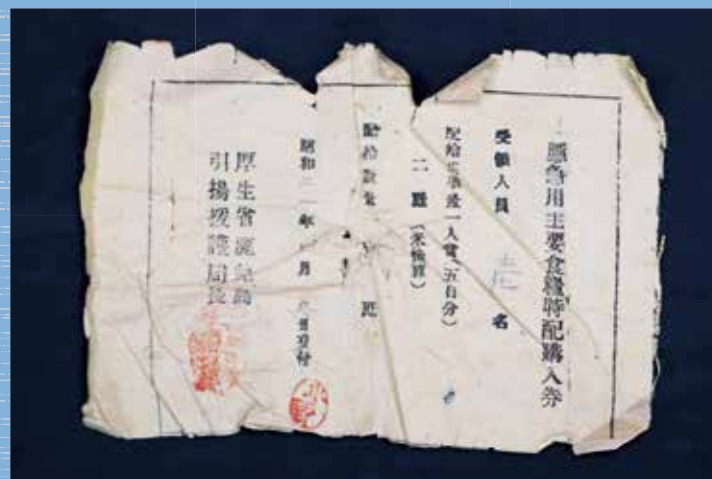


防空頭巾

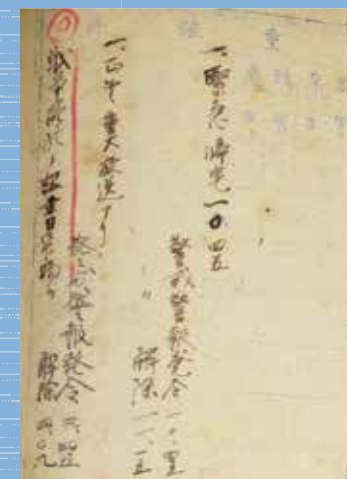
第3章 終戦その時

1945(昭和20)年8月15日、日本はポツダム宣言を受け入れて降伏することを決定し、「玉音放送」によって各地に報じられました。このことから私たちは8月15日を「終戦の日」としています。しかし、この日以降も捕虜と

なった兵士たちはシベリアやモンゴルなどに抑留され、強制的に労働を科され、また満州や朝鮮半島に移り住んでいた人たちは過酷で長い引き揚げを余儀なくされるなど、困難な状況は戦後も長く続くことになります。



応急用主要食糧特配購入券



▲旧荷揚町国民学校の学校日誌
終戦時昭和20年8月15日の記事



モンゴル抑留者着用の旧日本陸軍コート